

第9回日産学術研究助成候補者の推薦募集

上のことについて、日産科学振興財団から、当学会に助成候補者の推薦を依頼してきました。推薦を希望される会員は、所定の応募用紙に研究内容を記入し、10月末までに学会事務局へ提出して下さい（応募用紙は担当理事まで請求して下さい）。なお、この研究助成の詳細は下記のとおりです。

記

1. 助成の趣旨

自然科学を主とする学術の有意義な研究にして、国の助成となるべく重複しないもの（その期間が長期にわたる研究、学際的なグループによって行なわれる研究等）に対し助成を行ない、わが国の基礎学術の向上、進展に寄与しようとするものです。

2. 助成対象研究分野

助成対象を、資源・エネルギー、環境の分野の基礎研究および応用研究とし、本年度は当該分野のうち次のような研究を期待します。必ずしも実験を伴う研究のみでなく、いわゆるソフトの研究も含まれます。ただしその場合は、調査研究助成として扱います。

- ① 開発に伴う環境の改変が生態系に及ぼす影響に関する研究
- ② 生物指標による環境変化のモニタリングに関する研究
- ③ 新しい原理に基づく環境の分析方法と制御の方法に関する研究
- ④ 環境汚染物質の生体に対する作用機構に関する研究
- ⑤ 病害動物に対する無公害駆除剤の開発、並びに生物学的駆除法の研究
- ⑥ 人畜疾病の化学療法剤のスクリーニングに関する方法論的研究
- ⑦ エネルギーの貯蔵に関する研究
- ⑧ 新しい機能材料に関する研究
- ⑨ 人間—機械系の解析による安全性向上の研究
- ⑩ 資源・エネルギー、環境の立場から見た
 - (イ) 海洋の利用
 - (ロ) 林産資源の利用
 - (ハ) 輸送システム
 など

その他、資源・エネルギー、環境の分野における上記に類する研究

3. 助成対象の研究者

本学会に関する自然科学分野の基礎的な研究に従事しており、2～4年の期間を要する上記の研究を行なおうとする研究者および研究グループで、その研究成果が学術の進歩、発展に貢献するところが大きいと思われるもの

4. 研究助成金額

○総額（研究全年度） 約 200,000千円

- 研究1件につき30,000千円（調査研究は5,000千円）を限度とします。

○上記のうち第1年度（58/4～59/3）分約100,000千円

○1件当り助成金額の上限

- 一般研究……30,000千円（研究期間2～4年）
- 調査研究……5,000千円（研究期間2年）

○助成金の支払い

昭和58年度（58/4～59/3）を研究第1年度とし、研究計画に従い年度毎にその所要額を支払います。

ただし、第1年度の交付額は原則として助成額の1/2以下とします。

○助成件数

調査研究を含めて10件前後を予定しています。

5. 推薦件数

1学（協）会より1～2件とします。

6. 推薦者

学（協）会の代表者とします。

7. 第2年度以降の助成金

多年度にわたり助成が決定した研究に対する第2年度以降の助成金については、年度別の助成金額を内定額とします。

8. その他

① 候補者は必ずしも気象学会員であることを要しません（ただし、気象学会では、学会での研究発表と十分な討議を求めています）。

② 助成金の受領者に対しては、研究経過および研究結果の報告は求められていますが、そのほかには特に条件はついていません。

③ 助成金受領者には将来、研究成果の発表を依頼する予定です。

（担当理事） 竹内 清 秀

〒100 東京都千代田区大手町 1-3-4

東京管区气象台

電話 (03) 212-8341 内線419